



学校だより

令和7年5月30日
国分寺市立第三小学校
NO. 523
校長 堀田 直樹



いくつになっても心は育つ 心が喜ぶ栄養を借しまずに

校長 堀田 直樹

昨今、自己中心的で極めて身勝手な理由による事件が頻発し、憂慮すべき事態に立ち至っています。人は、子供の頃に褒められたことを忘れることなく、それを心の糧として成長することがあります。

「褒められし ひとつのことの うれしかり いのち愛しむ 夜のおもひに」 島 秋人

島 秋人は3歳の時に母親が病気で亡くなり、父親は養育に熱心ではなかったため、周りの誰からも愛されることがありませんでした。また、貧しい生活環境の中で多くの病を患って病弱となってしまう、寂しい幼少期を過ごしました。小学校に入学してからも様々な障害を抱え、勉強が得意でなかったことから同級生から馬鹿にされ、仲間外れとなってしまう、担任の先生からも罵倒されて、時には殴られたり蹴られたりしたこともあったそうです。こうしたことから心がすっかり荒んでしまい、性格はひねくれていき、学校をさぼったり衝動的な行動を繰り返したりしていました。中学校卒業後も長く職に就くことができず、仕舞いには盗みを働いて少年院に収容されてしまいます。20歳になり、社会に戻ってからも行くあてもなく、雨宿りした空き家に放火をして刑務所に収監されます。24歳の時に出所し、誰からも相手にされず希望を失い、自殺を考えました。寂しさが募る中、飢えに耐えかねて農家に忍び込み、家人に見つかってしまい、ふとしたはずみで殺傷してしまったことで死刑判決を受けます。

死刑囚となり、獄中でこれまでの人生を振り返ると、いい思い出がなかったはずの学生時代に、唯一、褒められたことを思い出します。中学の担任だった美術の先生が「絵は下手だけど、構図は面白い」とみんなの前で言ってくれたのでした。返事を期待することなく、恩師に手紙を書くと、しばらくして分厚い手紙が届きました。その手紙には、趣味で短歌を詠んでいた奥さんの短歌が三首添えられていました。秋人はその歌に触れ、「短歌もいいものだ」と日本語の美しさに目覚め、短歌についての教えを請い、短歌を詠むようになります。短歌は新聞の歌壇に投稿され、歌人の窪田空穂の目に留まり、「頭脳の明晰さ、感性の鋭敏さを思わずにはいられない」という評価とともに幾度も賞をもらえるようになりました。

刑に処されるまでの7年間に、秋人は死刑をもってしか謝罪にならないと数百もの歌を詠み、自ら犯した罪を悔い、被害者とその遺族の方への謝罪の念を深めていきました。

子供を褒めることがいかに大切であるかを考えさせられます。たった一言の誉め言葉が、人生の中で繰り返し思い起こされて、やがてそれが心の中に明かりを灯し、自信や力となっていくことがあります。

子供のやる気を育てるという面から褒めることを考えると、「できて当たり前のことは褒めない」という見方では、出来ないところばかりに目が行き、欠点を指摘したりとがめたりする傾向が強くなり、褒めることは少なくなります。子供に対して「なんで失敗したの」「これじゃだめだ」といったマイナス言葉が多くなると、子供が本来もっているよさや可能性の芽を摘んでしまいます。人間の長所と短所は表裏一体のもので、こちら側から見れば弱点ですが、反対側から見るとよいところにもなります。見方のゆとりや視野の広さを意識することで、褒め言葉は豊かになります。「小さなことでも褒める」という視点で接すると、子供とのコミュニケーションや人間関係が良くなり、子供たちのやる気や意欲が高まります。

学業や運動能力が優れているということだけではなく、友達を思いやる優しい心をもっている、心のこもったあいさつができる、悪かったときはすぐに謝る、笑顔がいい、姿勢がいい、ゆっくりだけどとても丁寧など、子供のよさはいっぱいあります。周囲の人からの温かい言葉掛けで子供は育っていきます。

三小では、これからも様々な場面で子供を褒めたり、よさを認めたりするように努めてまいります。

離任された先生方より

2019年度から6年間、あっという間でした。6年前に着任した当時のことがつい最近のことにように思い出されます。三小の皆さんの明るく元気で、物事に楽しげに取り組む姿勢をいつまでも忘れません。ありがとうございました。

香川宗夫先生（清瀬市立清瀬第十小学校へ）

5年前、ドキドキしながら第三小学校に来たことを今でも覚えています。この5年間は、毎日が楽しくて充実していました。特に最後に担任になった6年生の皆さんと過ごした幸せな日々は忘れません。みんなと出会えて本当によかった。ありがとう。第三小学校で過ごした日々を胸に、新しい場所でも頑張ります。これからもみんなのことは応援しています。保護者の皆様、地域の皆様にも温かく見守っていただき、感謝しております。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

島田聡介先生（国分寺市立第十小学校へ）

4年間、大変お世話になりました。私は、第三小学校の子どもたちが大好きです。また成長した子どもたちと、どこかで会えることを願っています。

中山真吾先生（日野市立日野第一小学校）

三小の皆さんと過ごす毎日は驚きと笑いに満ちていて、とても充実していました。教員一年目の私に、たくさんの学びをくれた皆さん、様々なことを教えてくださった先生方、ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。皆さんが、これからも自分らしく楽しい毎日を過ごすことができるよう応援しています。

松本 夏実先生（ご退職）

皆さんの元気な笑顔に、毎日パワーをもらっていました。楽しく働くことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

都事務支援員 栗田聡子さん（国分寺市立第四小学校へ）

ふれあい（いじめ防止強化）月間の取組について

生活指導主任 小倉 さえ子

6月は、ふれあい月間です。それに伴い、全校児童にいじめアンケートを実施します。質問項目に1つ以上○を付けた全児童に教員が聞き取りを行い、解決のための手立てを講じていきます。また、特別の教科道徳の学習を中心に「いじめは許されない行為であること」を指導したり、たてわり班活動を通して、相手への思いやりの気持ちを育てたりしていきます。ふれあい月間だけでなく、いつでも安心して学校で過ごせるように全教職員で児童を見守っていききたいと思います。ご家庭でも「いじめは許されない」ということについて話していただければと思います。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

学校へ忘れ物を取りに来ること（休日の来校）について

現在「三小のきまり」では、「忘れ物を取りに来たときには、職員玄関にあるノートに名前を書き、職員室に声を掛けてから取りに行きます。その後、もう一度職員室に戻って用事が終わったことを伝えてから帰りましょう。」「忘れ物を取りに来るのは、4時半までです。4時半を過ぎたら、校舎内には入れません。」と示し、児童に指導しています。また、昨年度より安全管理とトラブルの未然防止を第一に考え、休日の校舎内の立ち入りをご遠慮いただくことになっています。なお、利用許可を取っている際も、許可された場所以外への立ち入りはご遠慮ください。

保護者会について

教務部 鈴木 万知恵

子供たちの学校生活の様子や学年・学級の課題について共有する予定です。ご協力をお願いします。

【日程】7/2（水）…4年生、6年生 7/3（木）…2年生、5年生 7/4（金）…1年生、3年生

【時間】15：00～15：45 ※会場は改めて通知いたします。